

セネガルにおける日本のエボラ出血熱対策支援

- 対セネガル・エボラ感染症対策・JICA技協プロジェクト経費を活用した支援
(9月12日・保健・社会活動省)



【事業額】約2,160万円(JICA技協プロジェクト経費を活用)

【支援内容】

- 1 ファン国立大学医療センター(ダカールでのエボラ感染者受入れ第一施設)向けとして、解熱剤等薬剤、注射器・点滴器等医療消耗品、電子体温計等検査用品、噴霧器等除菌用品、ベッド等看護用品等、合計約2千万円相当
- 2 ダカール及び感染国であるギニアに近い南部4州(ファティック、コルダ、ケドゥグ、タンバクンダ)の計5保健局向けとして、マスク・手袋等防護具、噴霧器、漂白・殺菌液等、合計約160万円相当
- 3 JOCV(現在全国に65人)による、保健・社会活動省作成のエボラ啓発資料を使用した啓発活動

- 漁業・海洋経済省のエボラ出血熱対策活動計画に対する水産行政アドバイザー事業強化費による供与(9月29日・ダカール市SIRN(Societe d' Investissement et de Restructuration Navale))



【事業額】水産行政アドバイザー事業強化費による支援 210万円

【支援内容】啓発ポスター10,000枚、啓発用Tシャツ3,000枚、消毒液(塩素)1,500リットル、蛇口付きタンク(100L)68個

(了)